

事務事業	45	学校施設の改善					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	01	生涯学習、スポーツの推進					
施策	01	学習・教育環境の充実					
事業内容							
目的	区立幼稚園の保育室等を空調化することによって、通年良好な環境の整備を図ります。						
対象・手段	対象：幼稚園22園、中学校図書室5校 手段：区施設の営繕工事及びレンタル						
成果(事業が意図する成果)							
通年良好な環境を整備することにより、教育の充実を図ることができます。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
幼稚園保育室・遊戯室等、中学校図書室空調化割合	対象園、校に対する達成率	(平成18)年度に					
		(100%)の水準達成					
		( )年度に					
		( )の水準達成					
		( )年度に					
		( )の水準達成					
成果の達成状況							
	単位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備考	
事業成果指標	目標値1	%	0.00	0.00	100.00	100.00	
	実績1	%	0.00	0.00	100.00	100.00	
	= /	%	0.00	0.00	100.00	100.00	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	小学校全校の空調化完了。 幼稚園22園の保育室、遊戯室、職員室、及び中学校図書室5室の空調化を実施。一部工事については、繰越明許にて18年度に執行。						
平成18年度	幼稚園の保育室等及び中学校図書室の空調化完了。						

部名称		教育委員会事務局		課名称		教育環境整備課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	93,611	492,359	0	0	事業費については、17年度から発生主義の考え方を取り入れていません。 <減価償却費の算定>工事費135,898千円×90%（残存価値10%）÷耐用年数15年＝8,154千円
	人件費	千円	4,169	10,422	6,254	6,624	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	7,509	15,663	
	総計 = + + +	千円	97,780	502,781	13,763	22,287	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	97,780	502,781	13,763	22,287	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	97,780	502,781	13,763	22,287	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.50	1.25	0.75	0.80	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
<b>事業に関する検討課題</b>							
<p>小・中学校の普通教室、図書室及び幼稚園の保育室・遊戯室の空調化を完了しましたが、これら空調機のメンテナンスを適切に行っていく必要があります。</p> <p>今後は、空調未整備の特別教室のうち、教科指導を行う教室などについて空調化の検討が必要です。</p>							
評価基準に基づく評価と理由	達成度	3	17・18年度において、幼稚園の保育室、遊戯室等、中学校図書室の空調化を計画どおり行いました。				
	効率性	2	将来的なコスト負担を考慮して施工しますが、短期の場合には、レンタル設置として、効率的な対応をとっています。				
	実施の成果	3	児童・生徒の学習意欲、学習能率の向上に大きく寄与しています。				
	行政の関与	3	良好な学習・教育環境の整備は学校設置者たる区の責務です。				
	妥当性	3	近年、とみに顕著となってきたヒートアイランド現象及び都心部の大気汚染を考慮すると、良好な学習・教育環境の整備には空調化が有効な手段の一つです。				
	施策寄与度	3	児童・生徒の学習意欲、学習能率の向上に大きく寄与しています。				
総合評価	近年、とみに顕著になってきたヒートアイランド現象及び都心部の大気汚染を考慮すると、次世代を担う小学校、中学校の普通教室、幼稚園保育室等の空調化は、良好な学習・教育環境の整備を図る上で、必要不可欠となっています。したがって、小・中学校普通教室、幼稚園保育室等の空調化は、児童・生徒の学習意欲、学習能率の向上に大きく寄与しています。						B 過年度評価 17年度 B 16年度 A 15年度 14年度
	改革方針	小・中学校の普通教室及び小学校図書室の空調化を完了し、18年度においては中学校図書室及び幼稚園の保育室・遊戯室の空調化を完了しました。 今後は、空調未整備の特別教室のうち、教科指導を行う教室などについて空調化を検討します。					